

# 学校だより

令和3年3月19日

狛江市立狛江第三中学校

校長 工藤 聡

HPアドレス <http://www.komae.ed.jp/jh/03/>

電話 03-3489-5416

## 自分自分らしく あなたはあなたらしく

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、長期にわたる臨時休校から始まり、社会全体が大きな影響を受けた異例の一年となりました。感染防止に努めながら、「教育活動を止めない」ことを念頭に置き、2学期には縮小した形でしたが体育祭を行い、多くの励ましの言葉をいただきました。

この1年、至らないことも多々あったかと思いますが、本校の様々な取り組みや決定、そして教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝しております。

この学校だよりも今年度最終号になります。校長の式辞と生徒代表 ○○ ○○○さんの送る言葉を掲載いたします。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

### 令和2年度第48回卒業式 校長式辞

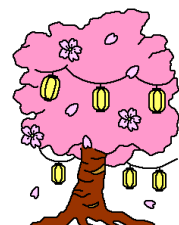
暖かな春風に誘われて、校庭や校門の桜もほころび始めました。コロナ禍の中、本日、このように、本校第48回卒業式を挙行できますことは、狛江市教育委員会をはじめ、保護者の皆様のご尽力によるものであり、そのことにまず感謝申し上げます。ありがとうございます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今年度、令和2年度という年は、きっと歴史の、そして教科書の1ページになるのではと思います。それくらい、新型コロナウイルスの感染拡大により、世の中が、学校教育が左右された年は近年ありません。学校行事の度重なる延期、中止。その中で皆さんは、狛江三中の最上級生として下級生への見本となり、学校を引っ張って行ってくださいました。中でも体育祭における皆さんの頑張り、メッセージを同級生にそして後輩たちに伝えてくれたパフォーマンスへの取り組み。何が素晴らしかったか、それは「一生懸命さ」だと思います。その一生懸命な気持ちと姿を後輩たちに伝えてくれたことを財産に、三中はこれからも頑張っていきたいと思っています。

また、その基本になっていると感じたのは毎日の皆さんの生活です。遅刻せず、学校を休まず、一生懸命に授業に取り組み…当たり前のことかもしれませんが。けれども、当たり前のことを当たり前としっかりできたことは、何より大切なことだったと思っています。その結果皆さんは見事に受験を乗り越え、それぞれの進路を手にしましたね。

卒業に当たって、私から2つの言葉を贈ります。ひとつは、「**気持ちを切り替える**」ということです。これから皆さんが進む高校は中学とは異なり、義務教育ではありません。勉強にもスポーツにも、人に言われてやるのではなく、自分の意志でやるのが大切です。気持ちを切り替えないと中学4年生ということになりかねないのですよ。そこで私が尊敬する野球人の一人、故野村克也さんの「野村ノート」という著作から「意識を変える」という一節を紹介します。

意識が変われば行動が変わる。  
行動が変われば習慣が変わる。  
習慣が変わればよい結果に結びつく。  
そして人生が変わる。



人生は 1 回限りで、後戻りはできません。充実した人生を送れるかどうかは、皆さん自身の気持ち次第だと思います。ぜひ、この機会に、気持ち・意識を切り替えてみてください。

2つ目は、「桜梅桃李」のごとく、自分らしく生きてほしいということです。

この言葉は、桜はさくららしく、梅はうめらしく、桃はももらしく、李はすももらしくとそれぞれに花を咲かせる時期も違い、姿も違う。また、それぞれに違う形の実を実らせ、味も違う。同じように私たちもそれぞれが、ありのままの姿で人生を咲かせ、実を結ぶことができるということを説いています。

自分に自信がなくなったときは、つい人と比べ意味もなく羨んでしまいがち…。ナーバスになった時、「自分はたいして意味を持たない存在なんじゃないか」と思ってしまうことも…。けれど私たちそれぞれに個々の姿、可能性、使命、そして人生があります。誰かと違うとか、みんなと同じでないとか…なんて思わなくなるといいのです。焦る必要もあわてる必要もなければ、だれかれと比べることもなく、自分は自分らしく、あなたはあなたらしく、堂々と胸を張って、桜梅桃李の道を切り開いて力強く歩み続けていってください。きっと素晴らしい人生が待っていると信じます。

最後になりましたが、この三年間、私ども教職員は一丸となって卒業生の成長を見守りつつ、精いっぱい努力いたしました。至らない点も多々あったかと思えます。にもかかわらず卒業生の保護者の皆様の長年にわたる本校への温かいお力添えにこの場をお借りして心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今後ともお子様の健やかな成長と、皆様のますますのご健勝をご祈念いたしまして、私の式辞といたします。

令和 3 年 3 月 19 日 狛江市立狛江第三中学校 校長 工藤 聡

## 送ることば 在校生代表 2年A組 ○○ ○○○

三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、先輩方は狛江第三中学校で過ごしたかけがえのない日々を思い出していることと思えます。私たち在校生も先輩方との思い出がよみがえってきます。

二年前、入学したばかりで緊張していた私たちにやさしく声をかけてくださり、とても安心したことを覚えています。体育祭でも率先して盛り上げ、リーダーシップを発揮してくださいました。We will rock you に合わせて集団演技をしていた時も、ぴったりそろっていて、さすが三年生と思いました。部活動では、いつも丁寧にやさしく、時には厳しく、さまざまなことを教えてくださいました。また、三中の伝統である「银杏募金」のときには、初めてで戸惑う私たちを前に黙々と作業をする姿を見て、ただただすごいと思いました。

そして、なんといっても合唱。残念ながら新型コロナウイルスの影響により、合唱コンクールでは先輩方の歌声を聴くことができませんでした。ですが、一年生のころ、合唱集会で「信じる」という曲を聴いたときに迫力を感じました。歌詞の「私は信じる、私を信じる、あなたを信じる、世界を信じる」という言葉を大切に伝えようとする合唱を聴くことができ、本当にうれしく、受け継いでいかなければならないと思いました。

先輩方はこの三年間、多くの人との出会いの中で、十人十色の思い出を築いてこられたと思えます。そして私たち後輩の前を歩き手本となる、かけがえのないものを残してくださいました。皆さんは私たちの目標であり、心の支えでもありました。自分の夢に向かって試行錯誤し、受験勉強など努力してこられた姿をずっと見てきました。これからは皆さんが築き、守ってこられた三中の伝統を私たちが継承していきます。

これから皆さんが歩む道は明るく輝かしいのと同時に、そう容易にはいかないこともあるかと思えます。そんな時には先輩がこれまで乗り越えてきた様々なことやこの狛江第三中学校で学んだこと、経験が役に立つと思えます。三中で巡り合った友達たちとの絆を宝物として、新しい世界へ歩みだしてください。そしてたまには三中へ帰ってきてください。その時には私たちにアドバイスをしてくださると嬉しいです。

今まで本当にありがとうございました。 在校生代表 ○○ ○○○

